

令和6年度 第2回狭山市立博物館協議会 会議録

開催日時 令和6年11月13日(水)
午後2時00分から午後3時20分まで

開催場所 狭山市立博物館 研修講義室

出席者 濱田会長、宮本副会長、北村委員、小峰委員、齋藤委員、土屋委員、横山委員

欠席者 安達委員、小泉委員、千田委員

事務局 滝嶋教育長、五十嵐生涯学習部長、石井社会教育課長、中津主事補
尾澤博物館長、奥富博物館副館長、アクティオ(株)入佐担当、
東急コミュニティー渡辺担当

傍聴者数 0名

議 題

1 令和6年度事業の中間報告について

会議資料に基づき、令和6年度事業の中間報告について博物館長より説明し、質疑応答後、承認された。

質疑等

委員 夏期企画展「さかなクンのギョ苦楽展」について、作品展示だけでなく、魚についての解説展示もあることでより興味深く鑑賞することができた。子ども向けの体験型展示があるとなお良かったのではないか。

会長 企画展のテーマに合わせ、海や水辺を感じさせるような演出があるとより雰囲気味わうことができたと思う。

館長 今回は当館で独自に企画したものではなく、先方から提供いただいた作品を展示するパッケージ展であったため、体験型展示や特別な演出を施すことは困難でした。

委員 学校連携事業の大学生等インターンシップとはどのような事業か。

館長 接客方法や社会人としての所作を博物館の業務をとおして学んでもらい、加えて当館について知ってもらうことを目的として実施しています。

委員 出前講座について、小中学校以外の団体からの依頼が増加したとのことだが、その場合依頼はどのように受けているのか。

館長 出前講座は社会教育課が所管しており、同課を通じて依頼を受け、講座を実施しています。

委員 例年に比べ小中学校への出前講座の依頼件数は減少しているのか。
館長 そのようなことはございません。しかしながら、学校だけでなく公民館や児童館等を利用している方々にも幅広く活用してもらいたいと思っています。
委員 今後も市民のニーズに沿った事業を実施してもらいたい。
会長 公民館のサークル、または個人からの依頼であっても実施は可能か。
館長 可能です。

委員 改修工事はいつごろ完了予定か。
館長 令和7年3月末を予定しています。

2 令和6年度の今後の予定について

会議資料に基づき、令和6年度の今後の予定について博物館長より説明し、質疑応答後、承認された。

質疑等

委員 童句コンクールについて、今後さらなる発展のために広報媒体の見直しや検討を行っているか。
館長 現在、市内ケーブルテレビや、ホームページを活用し広報しています。今後もより多くの方々に周知いただけるよう様々な手法を検討します。
会長 応募方法はどのような手段があるか。
館長 郵送やFAX、ホームページに設置した応募フォームです。

会長 先日、新聞に夏期企画展の案内が掲載されていたがどのような経緯があったのか。
館長 市長定例記者会見等から得た情報により、新聞社から当館に連絡があり、掲載していただく運びとなりました。

その他、博物館の使用料変更について事務局（社会教育課）より説明し、各委員から意見を頂いた。

委員 施設の老朽化について、どのように対応する予定か。
事務局 将来的に予定している大規模改修の際に対応したいと考えています。

（社会教育課）

委員 常設展の展示内容を変更する計画はあるか。
事務局 展示内容の変更も、大規模改修時に同時に実施する方向で検討しています。

（社会教育課）

委員 変更する際には、市民の意見を取り入れる等の工夫をしたら良いのではないかと。
事務局 検討を進めてまいります。

(社会教育課)

※閉会后、開催中の秋期企画展「土家由岐雄展」と、市制施行70周年記念事業「写真でみる狭山市の70年」を視察した。